

小学校第6学年

国語

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから22ページまであります。問題用紙のあいている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HBまたはBの黒えんぴつ（シャープペンシルも可）を使い、こく、はつきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、45分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 机つくえの上の「個人番号シール票」をよく見て、解答用紙に、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書き、個人番号シールを1枚まいはりましょう。

問題は、次のページから始まります。

青木さんの学級では、食生活について興味をもったことを調べ、学級の友達に発表をすることにしました。青木さんは、インスタント食品について調べています。次は、【青木さんの考え】です。

【青木さんの考え】

インスタント食品にはどのようなよさがあるのだろう。ぼくは、簡単に作る
かんたんことができておいしいところだと思っただけだけれど、他の人は、どのようなよさを
 感じているのかな。家でも食べることがあるから、家の人に聞いてみよう。



青木さんは、取材をして情報を集めています。次は、青木さんが取材をした【家の人の話】、【スーパーマーケットの店長の話】、【一人暮らしの森さんの話】と、青木さんの【メモ①】、【メモ②】、【メモ③】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【家の人の話】

インスタント食品は、調理が簡単にできるから、
 いそがしいときには助かっているよ。それに、ずいぶん
 味がよくなったと思う。
 それだけではなくて、軽くて持ち運びが楽という
 ところもあるわね。キャンプや登山に行くときには、
 カップラーメンやカップスープが便利だね。他にも、
 いろいろな種類が売られているようね。



いろいろな種類が売られている、と言って
 いたけれど、どのようなインスタント食品が
 あるのかな。近所のスーパーマーケットの人に
 聞いてみよう。

【メモ①】

- 4/17 (金)
- 取材をした相手
家の人
 - インスタント食品のよさ
 - ・軽くて持ち運びが楽
 - ・いろいろな種類がある

【スーパーマーケットの店長の話】

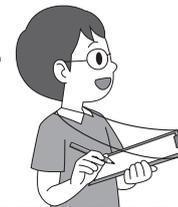
いろいろなインスタント食品がありますよ。最近では、次々に新製品が発売され、カレーやシチュー、パスタなど、いろいろな種類があり、好みに合わせて選ぶことができますと好評です。

また、フリーズドライという製法で作られたものがありますよ。調理が簡単だけでなく、栄養価が保たれ、もとの味やかおりとほとんど変わらないという特徴があります。

インスタント食品は、一食分で売られているものが多いので、一人暮らしの方もよく買われているみたいです。



店長



一人暮らしの人もよく買っている、と言っていただけると、一人暮らしの人が感じているよさも知りたいな。近所の森さんに聞いてみよう。

【一人暮らしの森さんの話】

インスタント食品は、調理が簡単です。一人分だけ作ることができるので、作りすぎたり、食材をむだにしたりすることが少なく助かっています。

それに、年をとると買い物に行くのも大変ですが、インスタント食品は長持ちするので、買い置きができて便利です。



森さん



【メモ②】

4/18 (土)

○取材をした相手

スーパーマーケットの店長

○インスタント食品のよさ

・好みに合わせて選ぶことができる
カレー、シチュー、パスタなど

・フリーズドライ製法は

栄養価が保たれる
もとの味やかおりとほぼ変わらない

【メモ③】

4/19 (日)

○取材をした相手

一人暮らしの森さん

○インスタント食品のよさ

・一人分だけ作ることができるから
作りすぎない
食材をむだにすることが少ない

・長持ちするから
買い置きができる

一 青木さんの取材の進め方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 疑問を解決するために、必要な情報を得ることができそうな相手を選んで取材をしている。
- 2 くわしい情報を得るために、一度意見を聞いた相手にくり返し取材をしている。
- 3 どのような傾向があるのかを数値を使って示すために、多くの人に取材をしている。
- 4 多様な考えを知るために、賛成と反対の両方の立場の人に取材をしている。

二 青木さんは、取材をしたことをメモに書き留めています。青木さんの【メモ①】、【メモ②】、【メモ③】のメモの取り方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 相手が話したことを全てもらさずそのまま書き留めている。
- 2 話している相手の表情や様子などを書き留めている。
- 3 関係する情報と情報を線で結びながら書き留めている。
- 4 自分が知りたかったことを中心に書き留めている。

三 青木さんは、取材を通して分かったことをもとに、インスタント食品のよさについて発表をします。
あなたが青木さんなら、どのように話しますか。次の【発表の様子】の に入る内容を、
あとの条件に合わせて書きましよう。

【発表の様子】



今、身の回りには、たくさんのインスタント食品があり、ぼくの家でも食べる
ことがあります。ぼくは、「簡単」、「おいしい」というところがインスタント食品の
よさだと思っていましたが、それ以外にも、もっとよさがあるのではないかと
思いました。そこで、身近な人に取材をしてみましたところ、いろいろなよさが
見つかりました。

ぼくが、みなさんに伝えたいインスタント食品のよさは、

みなさんは、どのようなところがよさだと思えますか。

岩田さんの学級では、生活の中で気になったことについて調べています。岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、ごみを減らすための行動について学級の友達に提案することにしました。次は、岩田さんが書いている文章の【下書き①】と【下書き②】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【下書き①】

提案します わたしたちにできる「プラスチックの^{アール}3 R週間」

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにア^アひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500万トンだったのが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。

プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれません。けれども、

[]

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のよう^イに使うという考えを^イあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、わたしたちにできる「プラスチックの3 R週間」を提案します。3 Rとは、ごみそのものを減らすリデュース (Reduce)、くり返し使うリユース (Reuse)、ごみを資げんに変え、再び利用するリサイクル (Recycle) のことです。

わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれませんが、しかし、その力が積み重なれば大きなものになります。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

【下書き②】

■ やってみよう プラスチックの3R

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをウたしかめましょう。他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみましょう。

プラスチックの3R週間 チャレンジ表

3 R	具体的な行動
減らそう リデュース (Reduce)	<input type="checkbox"/> バッグを持参し、レジぶくろをもらわない <input type="checkbox"/> ふたつき容器を使い、ラップの使用を減らす <input type="checkbox"/> コップから飲み、ストローを使わない <input type="checkbox"/> 水とうを持ち、ペットボトルを買う回数を減らす <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
くり返し 使おう リユース (Reuse)	<input type="checkbox"/> シャンプーはつめかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> 液体石けんはつめかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
資げん 変えよう リサイクル (Recycle)	<input type="checkbox"/> ペットボトルを洗い、せん用の場所にする <input type="checkbox"/> 食品用のトレイを洗い、せん用の場所にする <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

一 岩田さんは、読者にプラスチックごみの問題を自分のこととしてとらえてほしいと考え、構成をくふうし、【下書き①】の最初に の内容を書いています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 疑問に思ったことを最初に書いている。

2 身近にある具体例を最初に書いている。

3 行動することの重要性を最初に書いている。

4 全体を要約した文章を最初に書いている。

二 岩田さんは、【下書き①】の に、プラスチックがずっと残ってしまう理由を書くことにしました。そのために資料を探し、本を見つけました。次は、その【本の一部】です。 に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 【本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 岩田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、八十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。



岩田さん

三 岩田さんは、どのような目的で【下書き①】に続けて【下書き②】の「プラスチックの3R週間チャレンジ表」を書いていきますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 3Rの中で、どのような行動をしている人が多いのかを明らかにするため。
- 2 3Rをもとにして、学級みんなが取り組んだことを紹介するため。
- 3 3Rを家族で分担し、自分の役割を明確にもらうため。
- 4 3Rを意識して、自分にできることを考え実行してもらうため。

四

岩田さんは、【下書き①】と【下書き②】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 部アを漢字でていねいに書きましょう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにアひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の

ア	
---	--

※解答は、解答用紙に書きましょう。

(2)

一つ選んで、その番号を書き直したものととして適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えを イ あらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

- 1 改らため
- 2 改ため
- 3 改め

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかを ウ たしかめましょう。

- 1 確しかめ
- 2 確かめ
- 3 確め

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

大切なことは、

※解答は、解答用紙に書きましょう。

五 岩田さんは、【下書き①】で、**A**の文の……部と——部とがうまくつながっていないことに気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、の中に続きを書きましょう。

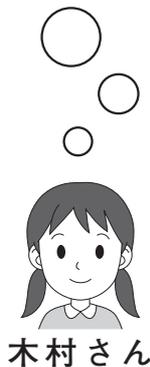
木村さんの学級では、人と動物との心の交流が描かれていた物語を友達と紹介し合うことにしました。木村さんは、棕鳩十の「金色の足あと」を選びました。次は、「物語「金色の足あと」のあらすじ」、「木村さんの考え」、「物語の最後の部分」、「ふせん①」から「ふせん④」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【物語「金色の足あと」のあらすじ】

山でつかまり、正太郎の家にとらえられた子ギツネは、人間になつかず、えさを食べようともしませんでした。子ギツネの親たちは、正太郎の家の床下に巣をつくって身をかくし、子ギツネに乳を飲ませたり、食べ物にあたえたりします。そして、子ギツネがながれた丸太をかじって、何とか助け出そうとします。正太郎は、必死に子ギツネを救おうとする親ギツネの深い愛情に心を打たれ、そっとえさをやりながら、応援していました。しかしある日、正太郎の父が、親ギツネを見つけ、銃でねらいます。正太郎は、とっさに銃身にとびつき、親ギツネを助けたのでした。

【木村さんの考え】

人と動物との心の交流は、この物語の最後の部分に一番表れていると思う。正太郎とギツネの行動や情景に気をつけてもう一度読み、心の交流が分かるところをふせんにまとめよう。



木村さん

(棕鳩十「金色の足あと」による。)



【ふせん①】

「うろたえました」という言葉
から、
気持ちが伝わってくる。

(棕鳩十「金色の足あと」による。)

↓

【ふせん②】

「しきりに」という言葉から、ニひきの
キツネが正太郎を助けようと、必死に
働きかけているすがたが分かる。

↓

【ふせん③】

「じじっとまぶたのおくがあつくなる」
というところから、正太郎の感動が
伝わってくる。

(棕鳩十「金色の足あと」による。)

【ふせん④】

「まばゆい朝日」と「足あとは、金色にかがやいて」というところから、正太郎がキツネたちをかがやかしいものと感じているということが分かる。

(棕鳩十「金色の足あと」による。)

—【ふせん①】の に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 安田さんが、子ギツネのいないことにおどろき、もらわれていったことにほっとしている
- 2 正太郎が、子ギツネのいないことにおどろき、もらわれていったことにほっとしている
- 3 安田さんが、子ギツネのいないことにおどろき、どこにいったのかを心配している
- 4 正太郎が、子ギツネのいないことにおどろき、どこにいったのかを心配している

二 木村さんは、【ふせん②】を書いたあと、文の意味をもう一度確認かくにんするために、——部イとウの文を読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 次のイの文について、~~~~~部がくわしくしている言葉として適切なものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

(棕鳩十「金色の足あと」による。)

1 ずいぶん

2 時間が

3 すぎました

- (2) 次のウの文について、~~~~~部がくわしくしている言葉として適切なものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

(棕鳩十「金色の足あと」による。)

1 正太郎の

2 ほおやくちびるを

3 なめまわし

三 木村さんは、【ふせん③】に、「じじっとまぶたのおくがあつくなる」というところから、正太郎の感動が伝わってくる、と書きました。木村さんは、正太郎が何に感動したと考えていますか。その内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 正太郎がごごえないように、親ギツネがからだの上ののってあたためたこと。
- 2 正太郎が谷の底に落ちてしまいそうになったところを、親ギツネが助けたこと。
- 3 親ギツネが正太郎のまぶたをなめ、まぶたのおくまであたたかくなったこと。
- 4 親ギツネがとらえられた子ギツネを助けるために、丸太をかじり続けたこと。

四 木村さんは、――部オを――部ア、エと関係づけて読み、【ふせん④】を書きました。

木村さんが【ふせん④】に、正太郎がキツネたちをかがやくかしのものと感じている、と書いた理由の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 木村さんは、まばゆい朝日に照らされて、深い林のおくまで春の雪がきらきらとかがやいていると
考えたから。

2 木村さんは、正太郎が親ギツネの行動に心を動かされ、キツネの親子の幸せを喜んでいると
考えたから。

3 木村さんは、「キツネの親たち」、「ニひきで」、「キツネども」という言葉から登場人物の様子が
分かると考えたから。

4 木村さんは、朝日で金色にかがやく風景に、正太郎の父のすがすがしい気持ちが表れていると
考えたから。

これで、国語の問題は終わりです。

